

県立中央病院連携室だより

-ともに歩む地域医療-



●発行月 令和7年1月
 ●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)
 ●URL <http://www.chuo-hp.jp/>

「地域医療連携推進の基本方針」

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携バスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

令和7年 新年のご挨拶

皆さま、新年明けましておめでとうございます。ウイルスパンデミックや自然災害など色々と気を遣ってこの「おめでとうございます」というご挨拶ができない年が続きました。まだ色々と困難はあることは認識しつつも、今年は思い切って「おめでとうございます」と新年を祝いたい気持ちです。

春夏秋冬、色々と行事はありますが、日本人にとって一番大きな区切りの行事は新年の始まりです。“大晦日深夜の除夜の鐘を経て、夜明けに初日の出を拝み、初詣をして新たな年の始まりを祝う。神聖な風習で前年の厄を払い、新鮮な気持ちで新たな年を愛でる。”そんな気持ちは他の国よりも日本に強いのではないのでしょうか。愛でたいと思います。

ところで新たに迎えた新年も、社会の縮小準備をしなければならぬ時代と把握しております。先進国の中でも日本の人口減少は速く、その中でも北東北の減少速度は急激です。国立社会保障・人口問題研究所の調べでは、2020年に121万人だった岩手県人口は、2050年には78万人にまで減少すると予想されています。特に医療の現場で不安を感じる人口減は、今、患者減少のことよりも働き手の減少です。必要な人員を整えることが難しい中、少ない人数で賄える医療の在り方を考えていかなければなりません。「うまく」縮小していくのは決して易しい課題ではありません。

機械やコンピュータに委ねる部分は多くなるでしょうし、患者さんの流れも、地域の医療機関との連携によって、

より効率性を重視した流れになるものと思います。医療提供側だけで考えるのではなく医療を受ける側の意見も聞きながら「うまく」進めていかなければなりません。コロナ禍で県民の皆さんの受療行動も変わってきたことを感じます。救急車出動が増加するのは、高齢化社会では当然と思いますが、これに反して直接歩いて当院救急外来を受診される軽症患者さんの数は、コロナ禍前に比べると2-3割減少しています。医療機関の適切な利用に関し、医療を受ける皆さまのご理解とご協力をいただいていると感じ、感謝しております。

令和7年度からは岩手県医療局の運営計画も新たな局面に入ります。人口は減りますが、様々な情報通信システム等の進化も含め、『全体が通じ合ってまとまりのあるコンパクトな社会』と思い描くことが出来るのかもかもしれません。そんな変化の中、県立中央病院として県民の健康に貢献できる病院であり続けるよう自己変革を怠らずに運営してまいりたいと思いますので、引き続きのご支援をお願いいたします。皆さまにとって、この新年が良い一年であることをお祈りしております。



院長
宮田 剛

糖尿病療養指導チームについて

糖尿病・内分泌内科長 橋本 朋子

「糖尿病療養指導チーム」は、患者・家族・糖尿病患者に関わる多職種への情報発信や指導などを目的に2013年に発足しました。

院外活動としては、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・検査技師・理学療法士・事務と多職種で構成し、それぞれの立場から基礎～専門的な内容を幅広く提供しています。院内では、めまぐるしく進化する血糖測定器具や注射製剤の院内スタッフへの教育指導、糖尿病領域でのインシデントを減らすよう医療安全との連携など行っています。ほか、院内では毎年11月14日の「世界糖尿病デー」に併せて、資料展示や正面玄関のブルーライトアップなどを行っています。

2019年までは参集型で、患者向けの「糖尿病教室」と、医療従事者向けの「ネットワーク勉強会」を毎年開催していましたが、2020年以降のコロナ渦で開催はかなわず、2021年からはこれらに代わる手段として、患者や医療福祉施設への情報を通信としてお届けしていました。が、とうとう、2023年からはネットワーク勉強会を再開、2024年からは糖尿病教室も再開出来ました。

ネットワーク勉強会では、アンケートで希望があったテーマをその専門職種により講義しますが、希望テー



マや感想を拝見すると、食事、薬、運動以外にも、認知機能、皮膚トラブルといった内容も多く、患者さんの日常生活をここまで気を配り看てくれているんだと感心し有り難い気持ちです。2024年9月に開催したフットケアの会は実技もあり、本当に多くの方がご参加くださり時間が足りない位でした。このように少しでもお役に立てる情報をこれからも提供できればと思います。

糖尿病教室については、今年度から、慢性腎臓病療養指導チームと合同で開催することとなり、早速11月に糖尿病性腎症とその食事をテーマに勉強会を開催しました。これまでも、糖尿病教室では、普段の診察では聞けない患者さんの疑問や相談を聞き、「気になってたけど聞けなかったからよかった」と安心する患者さんをみてこちらも嬉しくなりますし、日頃の患者さんの思いに気づかされ自身の診察を見直す機会にもなりました。これからは糖尿病だけでなく、糖尿病と密接に関わる腎臓にも興味をもってもらい、少しでも透析になる方が増えないよう知識を深めてもらう機会になればと思います。

最後に、糖尿病に関わるすべての皆様のお役に立てるチームをこれからも目指していきたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。



第8回岩手県立中央病院 地域医療福祉連携協議会

当院では、地域の医療機関との連携推進のため、例年連携登録医の先生方をお招きし「岩手県立中央病院地域医療連携協議会」を開催しております。今年度につきましても、感染症対策を講じた上で令和6年11月29日に開催させていただきましたので、ご報告いたします。

協議会の前半では、今年度新たに就任した8名の診療科長のご紹介と当院の活動紹介として、①連携登録医アンケート実施と報告について ②岩手県立中央病院血液内科の現状と未来 ③リハビリテーション・栄養・口腔の多職種協働による取り組みについて、の3題を講演いたしました。

会の後半では、日頃より当院との連携にご協力いただいております登録医療機関の皆様への感謝の意を表し、感謝状を贈呈させていただきました。本来であれば、ご来訪いただいた皆様に直接お渡しするべきですが、時間の関係上、例年、代表施設様への贈呈とさせていただきます。

今年度は、三愛病院様、みたけ消化器内科クリニック様、



たぐち脳神経外科クリニック様の3施設様にご登壇いただきました。なお、連携登録医の所属する医療機関様には、後日、感謝状を郵送させていただきました。休憩時間と終了後には大ホールを解放し、当院職員と連携登録医の皆様顔合わせでご歓談いただく機会にも恵まれました。

当日はお忙しい中、多くの連携登録医の先生方にご参加いただけましたこと、深く感謝申し上げます。今後とも、地域医療の充実と発展を図るため、より一層精進して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



連 携 登 録 医 募 集

○岩手県立中央病院連携登録医とは

地域医療支援病院が保持すべき要件の一つ。「開放型病床」、「施設・設備等の共同利用」を円滑に推進するための「岩手県立中央病院連携登録医要綱」に基づき、地域の医療機関の医師等の申請を受け、病院長が「連携登録医」として承認する。(令和6年12月現在、盛岡医療圏の医師/歯科医師378名が登録)

○申込み方法

登録医申請書(当院HPに掲載)を郵送又は
FAX(019-654-5052)



申請書を受理・承認
登録医確認書と登録医証の発行



登録完了

○お問い合わせ先・申請書送付先

岩手県立中央病院地域医療福祉連携室
〒020-0066 盛岡市上田一丁目4番1号
TEL 019-653-1151(内線2177) FAX 019-654-5052



専門・認定看護師会では、地域の医療・介護・福祉に携わる皆様と知識を共有し、ケアの充実を図ることを目的に、当院で行っている院内研修会を公開することとしました。

オンデマンド研修ですので、『好きなタイミング』で、『ご興味がある内容』をご覧ください。

今後も地域医療支援病院の専門・認定看護師会として、地域におけるケアの質向上に向けてお役に立てよう、活動を続けていきたいと考えています。どうぞお気軽にご利用ください。

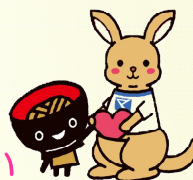
令和6年度

地域公開講座 ～オンデマンド研修～



視聴期間 令和7年3月20日まで

研修ビデオは二次元バーコードよりご視聴ください



テーマ	二次元バーコード
テーマ1 自立を目指した排尿ケア 排尿自立支援研修(40分) ①高齢者の排尿機能障害について 泌尿器科医 高橋 健太 ②排尿自立支援について 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 熊谷 久美 ③排尿自立に向けたリハビリ介入について 理学療法士 遠藤 芽依	
テーマ2 認知症看護研修 ①摂食嚥下障害がある認知症患者のケア(25分) 摂食嚥下障害看護特定認定看護師 佐藤 智恵子	
②認知症高齢者と環境(8分) 認知症看護特定認定看護師 小笠原 梓	

★ご視聴後は、アンケートへのご協力をお願い致します。

(アンケート用 二次元バーコード)→



中央看GO9



★研修内容に関するご質問、お問い合わせについては、専門・認定看護師相談室までお寄せください

(専門・認定看護師相談室用 二次元バーコード)→



研修企画・問い合わせ先：岩手県立中央病院 専門・認定看護師会